

8/17

姉妹町交流

江尾十七夜（鳥取県江府町）に参加

8月17日（月）、姉妹町である鳥取県江府町にて「江尾十七夜」が開催されました。西ノ島町からは海産物屋台を出店。隠岐のいわがきの酒蒸し、サザエの壺焼きを販売しました。

当日は一時雨に見舞われるなど不安定な天候でしたが、いわがき、さざえ共に大変好評で、多くの方にお買い求めいただき完売しました。

このお祭りは、江府町にて500年もの長い間受け継がれており、毎年8月17日に開催されています。

祭りの顔でもある「こだいち踊り」をはじめ様々な催しが行われ、また江尾駅周辺では露店がぎっしりと並び、多くの人で賑わいました。

終盤には、日野川を挟んだ対岸の久連山に「十七夜」の火文字が浮かび、合わせで花火が打ち上げられ、盛大に行われた祭りを締めくくりました。



8/23

自衛隊・海上保安署・警察・消防署・消防団・浦郷区・役場 総勢約350名が参加

住民と各防災機関合同の防災訓練を実施

8月23日（日）津波災害を想定した防災訓練を浦郷地区で実施しました。浦郷区の住民と警察署、消防署、消防団、自衛隊などの防災機関あわせて約350人が参加し、津波避難訓練と本土への搬送を想定した訓練を実施しました。



津波避難訓練では、8時30分に大津波警報が発令されたと想定し、防災無線によるサイレン放送とともに、浦郷区住民の方々は津波避難計画に基づいた各避難場所へ実際に避難しました。

また、津波により町内で大きな被害を受け、海上自衛隊多用途支援艦「ひうち」に乗船して本土へ避難するという想定で訓練を実施し

ました。浦郷区の方々に避難者役、負傷者役、高齢者役などになってもらい、避難場所から自衛隊の艦船に乗船して出港するまでを体験してもらいました。避難者役の方々は警察署の誘導で浦郷港に向かい、負傷者役の方は救急車や自衛隊車両で搬送を行いました。

今回訓練では、自衛隊を初めとした各防災機関との連携を確認することができました。本町は離島という環境の中、防災減災には多くの課題があります。今後も防災体制強化に努めてまいります。万が一の大災害時には防災機関だけでは対応できません。訓練などを通して住民同士の協力、連携をより一層深めて頂きますようお願いいたします。



9/5

＜国重要無形民俗文化財＞

伝承された中世芸能 美田八幡宮の田楽

今年「美田八幡宮の田楽2015」と題して、2週に渡り、隠岐の田楽に関するイベントが行われました。

第一部は、9月5日(土) 別府至誠館において山路興造氏(島根県文化財保護審議会会長・民俗芸能学会理事)を講師に迎え、「伝承された中世芸能 美田八幡宮の田楽」をテーマに講座が開かれ、60名の出席者が自分たちの暮らす島の伝統を学びました。



第二部は9月12日(土) 長福寺において十方拝礼(しゅうはいらい)「笠ぞろえ」13日(日)美田八幡宮において十方拝礼「奉納」と連日多くの方が観に来られました。奉納の後には、子どもから大人まで相撲がとり行われ、土俵の周りが賑わいました。



9/6

＜人権・同和教育講演会＞

TBS 杉尾秀哉さん講演会



9月6日(日)、中央公民館ノアホールにおいて、TBS報道局解説・専門記者室長の杉尾秀哉氏をお招きし、「報道と人権〜ニュースの現場から〜」をテーマに講演会を開催し、町内外から110名の参加者がありました。

ニュースの現場、テレビの裏側の話など、ときに笑いを交えながらも、報道に携わる人間としての葛藤や責任、現代社会における人権侵害の実態について、わかりやすくお話をいただきました。また、人権が守られた社会を築くために、私たちが心がけなければならないことについて、熱く語っていただきました。講演会終了後、会場をあとにするお客様から、満足した感想が聞こえていました。

9/6

西ノ島の生命・財産を守るための訓練

西ノ島町消防団夏期訓練

9月6日(日) 消防団夏期訓練が行われました。

当日はあいにくの雨天のため、西ノ島小学校体育館で行われました。団員の皆さんは松新団長の指揮の下、隠岐島消防署島前分署員の指導を受けながら訓練に励まれました。

今回の訓練では、通常点検、無線通信訓練、ホース展張訓練等を行いました。いずれの訓練も消防団活動の基本となる大変重要な訓練です。参加された団員の方々は消防署の指導のもと、真剣に取り組み、いざというとき、町民の生命・財産を守るため迅速かつ的確に行動できるよう訓練を行いました。



これから火災の発生しやすい季節を迎えますので、各ご家庭においても火災予防にご協力ください。お願いいたします。